

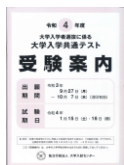


# 白聖はくあ 第5号 令和3年9月27日発行



## 《大学共通テストの出願始まる》

令和4年度大学入学共通テストの出願が9月27日(月)から開始されました。試験は令和4年1月15日(土)・16日(日)に実施されます。



## 《医学科進学のための

## 特別講座 D'sVoiceの様子》

医学科志望の生徒を対象とした説明会・講座の様子です。(本校会場)



講師：水戸ブレインハートセンター院長  
畑山 徹 先生

## 【大学受験について学ぼう】

進路選択では、自分に合った学校を見つけたいもの。でも、行きたい学校についてきちんと調べずに志望校を決めてしまい、入学後に後悔……なんて声もあります。そんなときに役に立つのが、「アドミッション・ポリシー」です。アドミッション・ポリシーについて知ることは学校選びや入試の傾向をつかむ手がかりになります。

## 《アドミッション・ポリシーとは》

アドミッション・ポリシーは大学進学希望者が大学選択をする際の一助となります。そこで基本的な概要や役割についてお話しします。

アドミッション・ポリシーは、入学者の受け入れ方針をまとめたものです。自学の特色や教育理念を反映した上で「どのような学生を求めているか」という受け入れの方向性が、明確に記載されています。学部・学科ごとにアドミッション・ポリシーを定めていることも少なく

ありません。大学教育で向上させる力や入学者に求める能力などを、入学希望者に伝えるのがアドミッション・ポリシーの役割です。

とはいえ、アドミッション・ポリシーは入学者の基準を設けるものではありません。高校時代までに身につけておくべき知識についての記述もありますが、実際の知識・思考力の有無などは入学試験によって審査されます。

したがって、大学のアドミッション・ポリシーを読むことにより、学習意欲がその大学で学修・研究するにあたり十分なものであるかどうか、また、その大学で身につけられる能力と入学希望者の目的が合致しているかどうかを知ることができるでしょう。

## 《アドミッション・ポリシーのチェックポイントは？》

受験生が志望校を決めるにあたって、その大学の情報を収集することは非常に重要です。それぞれの大学にはイメージがありますが、イメージが独り歩きしてしまい、実際の研究内容や教育方針とは異なることも少なくないからです。また、入学してから「希望していた研究ができそうにない」「想像していた校風と違う」といったミスマッチが生じるのを防ぐ意味でも、アドミッション・ポリシーの確認が必要です。とくに次の3つの理由から、受験生は志望校のアドミッション・ポリシーをしっかりと確認しておくようにしましょう。

〈確認すべき3つの理由〉

- ①大学の特色や教育理念、何に力を入れているかが分かる
- ②入学後に取り組む研究について方向性をイメージできる
- ③入学試験の方針や出題傾向について知ることができる

アドミッション・ポリシーは各大学が求める学生像を文章にしたものですので、大学の方針や教育理念など、さまざまな思いが凝縮されています。そのため、チェックすべきポイントを押さえ、自分にとってその大学が本当に合っているかどうかを確認できるようにしておくことが大切です。

では、受験生が志望校のアドミッション・ポリシーを確認する際、どのような点をチェックしておいたら良いのでしょうか。とくに次の3つのポイントを押さえて、アドミッション・ポリシーをチェックしておくとう良いでしょう。

〈確認すべき3つのポイント〉

- ① どのような人物・能力が求められているのか
- ② 卒業までにどのような能力を身につけられるのか
- ③ 入試を通してどんな能力を確認しようとしているのか

アドミッション・ポリシーは、大学としてどのような学生に入学してもらいたいかを示した方針です。これから志望する大学について調査する際には、アドミッション・ポリシーを忘れずにチェックし、熟読しておくようにしましょう。志望校についてより詳しく知るきっかけになるのももちろんのこと、入学後に身につく能力や知識をイメージする上で役立つはずですよ。

また、この他にもディプロマ・ポリシーやカリキュラム・ポリシーといったものもあります。

## 《ディプロマ・ポリシーとは》

ディプロマ・ポリシーとは、各大学が定める「卒業認定・学位授与の方針」です。中学校や高校とは異なり、大学では卒業する際に「学士」という学位が与えられます。学位とは、一定の水準の教育を受け、知識・能力があると認める資格のようなものです。つまり、ディプロマ・ポリシーは、大学側が自信をもって卒業資格を出せる学生の基準であり、教育の質保証といえます。

大学によって、また学部によっても、ディプロマ・ポリシーは異なります。知識・技能だけでなく、倫理観やコミュニケーション能力を卒業要件としている大学や学部も少なくありません。そうした学位授与の方針を事細かに記したものが、ディプロマ・ポリシーです。

## 《カリキュラム・ポリシーとは》

カリキュラム・ポリシーは、ディプロマ・ポリシーを達成するための、教育課程編成・実施の方針として定められます。大学がどのような教育内容をどのような方法で実施するか、そして学修成果をどのように評価するかを具体的に記しています。

(キャリアガーデンより抜粋)

(THE 世界大学ランキング 日本版より抜粋)

## 《実際に見てみよう！》

### 【東北大学のアドミッション・ポリシー】

#### I 入学者選抜方針（アドミッション・ポリシー）

##### 東北大学の理念

百余年の歴史と輝かしい伝統を有する東北大学は、明治40年(1907)の建学以来、「研究第一」、「門戸開放」、「実学尊重」の理念を掲げ、優れた教育・研究を展開してきました。本学は未来に向けてこの美徳を継承しつつ更なる飛躍を図り、世界をリードするワールドクラスの教育・研究拠点として、世界が直面する困難かつ複雑な課題に挑戦し、人類社会の発展に大きく貢献します。そのために、学部や大学院、研究所等、全学の総力を結集して、人類社会の未来を担う高い倫理性を備えた国際的リーダーを育成するとともに、世界水準の創造的な研究を展開し、その成果を広く社会へ還元することに努めます。

##### 東北大学の特長

- ① 創立以来の三つの理念  
創立後すぐに「研究第一」、「門戸開放」、「実学尊重」の理念を確立し、時代に応じてその内容を一層発展させています。
- ② 教育環境に恵まれた総合大学  
10学部、16研究所、8専門職大学院及び6研究所をはじめとする多数の教育研究組織・施設を擁し、学部・研究所と研究所等のスタッフが一体となって教育を行います(教員約3,000人、学部学生入学定員約2,400人、大学院学生入学定員約2,700人)。
- ③ 研究大学  
国際的な研究成果を多数生み出し、先端的な研究と教育を一体的に進める大学です。
- ④ 積極的な地域連携・産学連携  
地域や産業界との間に多様な連携を積極的に発展させています。
- ⑤ 教育研究のグローバル化  
本学は国立大学の中でも最も多い海外協定大学を有する大学の一つであり、活発な教育・研究交流を展開しています。多くの留学生を受け入れるとともに、海外留学を積極的に支援し、グローバルに活躍する人の育成に力を入れています。

##### 東北大学が学部志願者に求める学生像

- 東北大学では、上記に掲げた理念のもとに、学士課程を通じて、
- ① 専門分野に関する知識及び学問全体への興味関心と幅広い知識に基づく複眼的視野を有し、
  - ② 教養ある社会人としての素養を備え、専門分野特有の技能を生かして社会に貢献でき、
  - ③ グローバル社会において指導的・中核的役割を果たす自覚と展望を持ち、基礎能力を備える人を育成します。
- また学士課程教育では、幅広い知識や素養を育成する全学教育科目と専門分野の基礎的知識を習得させる専門教育科目を有機的に連関させたカリキュラムを提供し、授業内外での能動的な学習を推進するとともに、学生の自律的学習力を育成します。
- このため、東北大学は、上記の本学理念に共感し、
- ① 21世紀の人類社会の課題に対し研究者として真剣に取り組み優れた貢献をしようとする志と
  - ② 豊かな学識とリーダーシップを備える職業人として社会の発展に優れた貢献をしようとする志
- を抱き、これを実現する強い意志と学問に対する強い好奇心を持つとともに、上記の本学学士課程教育を受けるにふさわしい高水準の学力を備えた学生を求めています。高水準の学力とは、具体的には、高等学校等で幅広い教科目を履修して優れた成績を収め、論理的思考力や問題発見力、分析解決能力、豊かな創造力、発想力、表現力、コミュニケーション能力を有することを指します。さらに倫理性や、学問の課題に主体的にリーダーシップを発揮しながら他の学生と協働して取り組むことができる態度を備えていることを求めます。

### 【弘前大学のカリキュラム・ディプロマポリシー】

#### 2. 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

弘前大学は、学生の主体的・能動的な知的探究をとおして、学生の知性ならびに人間性・社会性を育む教育課程を編成・実施します。

- (1) 教養教育：教養教育は学生の探究の第一歩です。
  - 見通す力  
学生に人間の創着たる語学間の構造を俯瞰する機会を提供することで、複眼的思考および多元的価値観に立脚した有察を促します。これにより、国際社会や地域社会が抱える複雑な問題の本質を見通す力を養います。
  - 解決していく力  
学生に国際社会や地域社会の実情や問題の複雑さに触れる機会を提供します。これにより、学生が個人およびチームとして問題の解決に挑戦できるような養っています。
- (2) 専門教育：専門教育は、学生の探究の集大成です。
  - 見通す力  
学生に専門知識を体系的に教授することで、自然や社会への洞察を深化させます。
  - 解決していく力  
学生に、専門知識を国際社会や地域社会の問題解決に応用したり、高度な学識を活かして学術的問題の解決に取り組んだりする機会を提供します。これに加えて専門家としての見識と職業倫理も、実践をとおして培います。
- (3) 学士課程教育の再構築：学生の探究の過程こそが新しい学士課程の本質です。
  - 卒業後、学生が国際社会や地域社会の一員として充実した生活を営むとともに、より良い社会の実現に貢献していくことができるように、学生の探究の習慣を確立します。

#### 3. 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

弘前大学は、変化が激しく、将来予測が困難な時代にあってもその力を発揮できる主体的・能動的な探究者を目指す。高い倫理観をもって知的探究に取り組むための三つの力を身に付けた者に対して学位を授与します。

- 学際的な教養と高度な専門性を身に付け、学術的観点から自然や社会を見通す力
- 学術的な知識を具体的な実践へ移し、国際社会や地域社会の問題を解決していく力
- 常に新しい問題に挑戦し続け、生涯にわたって自らを成長させていく学び続ける力

\*カリキュラム・ポリシー及びディプロマ・ポリシーの解説は、ホームページをご覧ください。  
<https://www.hirosaki-u.ac.jp/policy/policy.html>

各大学のホームページを調べると掲載されているので各自で進路研究をしてみよう。

